



まごころ

第24号

令和4年
5月発行

地域に親しまれ 信頼される 福祉事業所に



桜の便りが届き始めるころ。和菓子屋さんの「桜餅」や「うぐいす餅」と書かれた華やかな旗が目を見せます。「コンビニでもイチゴ大福をはじめ目新しいスイーツの誘惑にはイチコロです。待ちに待った春です。春はお出かけが楽しい季節ですが、今は人込みを避け、健康のためになるべく歩くお出かけをしてみようと思います。歩くのが健康に良いことは、皆様もご存知の通りです。血圧や血糖値の改善、骨粗しょう症の予防、さらには認知症を防ぐのにも役立つのだそうです。私の周りの人たちがまた、それぞれに健康法を持っています。ある友人は、移動にエレベーターは使わず、歩く機会を増やすため階段を駆け上がるのだとか。また、別の友人は足裏への刺激とストレッチを日課にし、週2回ホットヨガに通うとか。そんな友人たちが口を揃えて言うのは「桜の季節のウォーキングは最高！」。

普段は歩かない私も同感です。お花見は運動を兼ねた健康的な行楽。満開を見逃さないように、お気に入りのスポットの開花情報は、要チェックですね。

さて、私たちは福祉の仕事をしていて、「福祉」とは、すべての人の「幸福」を意味しますが、人が幸福に感じる内容や幸福の度合いはいろいろだと思いますが、人が人らしく生命を維持し、生活をゆたかに発展させようとするのが、幸福の具体的ななかたちになると思います。そして、幸福を求めることは人の権利です。そのために人々は支え合い、協力し合い、次世代に希望を託し、理想を追求し、よりよい生活環境を整えるための努力をします。それは権利の確保には、そのための努力と果たすべき責任を負う義務があることを意味します。権利と義務は表裏一体、車の両輪の関係にあり、そうした権利と義務を有する人々によって構成されているのが「社会」です。よりよい社会は、人々の生きる努力と支え合いによってこそ築かれるものだと思っています。

きっと30年先は、今とは違った社会になっていることでしょう。しかし、30年後はいきなり明日ではありません。今日をしっかりと生き、未来に備え、協力していきたいものです。話はうつつと変わり、私的なことにはなりますが、近々娘が出産予定です。その際、夫が育児休暇をとるらしいことを聞きました。これも未来に向けた良い変化だと喜んでます。

一日も早くコロナウイルス収束と戦争が終わりますよう、平和を願うばかりです。

社会福祉法人 淡路島福祉会

本部長

岡本 和浩



(令和4年4月1日記)

法人本部 淡路島福祉会

本部事務局

☎(0799)
42-5899
FAX (0799)
43-2812

令和4年度 社会福祉法人 淡路島福祉会 事業方針

社会福祉法人 淡路島福祉会
本部長 岡本 和浩

2022年、長引くコロナ禍を過ごしてきた中で、「Withコロナ・Afterコロナの社会情勢に適応するための行動」ニューノーマルが見えてきました。また、「SDGs」を考えることが当たり前の世の中に変化し、一般的なキーワードになりつつあります。

当法人でも、オミクロン株で多数の感染者が出て、休所している事業もあります。濃厚接触者となった職員が出勤できず、相次ぐ勤務交代、他事業からの応援などで対応しています。本当に大変な状況下ではありますが、職員や関係者の皆様の、絆、連帯感、おもいやり、強い意志、やさしさ、努力、工夫、助け合い、プライド、感謝・・・そんな光景を、日々、目の当たりにしています。感染者専用の居室対応に一番に手を上げる職員。ホテルや施設に寝泊まりしながら、昼夜を問わず身を粉にして働いている職員。それぞれが出来ることを自発的に考え行動しています。職員一人一人の職業倫理に熱いものがこみ上げてきます。その努力に報いなければなりません。

新型コロナウイルスの流行が終息し、ワクチン及び内服薬などを含む対応策が確立されたとしても、もはや以前の世の中へと戻っていくことは難しいでしょう。だからこそ、生活のあらゆる局面で「新たな常識」を意識することが必要です。

今年の課題は、

- ① 新型コロナウイルス感染症終息後のニューノーマルに適応していきます。
- ② 老人保健施設ひまわりの移譲を滞りなく実施します。
- ③ BCP(事業継続計画)を策定し、緊急時においても事業の継続・早期復旧を図れるように準備します。
- ④ 予期せぬ状況下においても、中長期ビジョンに沿って臨機応変な対応も組み入れながら、着実に計画性のある事業運営を行います。
- ⑤ 社会福祉事業における「SDGs」を意識し、取り組んでいきます。
- ⑥ 福祉人材確保のため幅広く新しい視点で職員の処遇改善に努めます。
- ⑦ 南あわじ市の福祉政策及び地域の福祉事業の連携等に協力・貢献します。
- ⑧ 地域の特性を鑑み、地域に親しまれ信頼される福祉事業所であり続けます。

未来を予測して備えることの困難さを痛切に感じています。また、緊急事態が発生した場合の対応の難しさも経験しています。今までにない状況下で臨機応変な対応が迫られ、日々新しい判断をしています。救いは、仕事にプライドを待って立ち向かう職員の強い意志と行動力です。この局面を乗り越え福祉事業を守る一年にしたいと思います。

社会福祉法人 淡路島福祉会

- 特別養護老人ホーム 翁寿園
- 三原デイサービスセンター やすらぎ
- 三原在宅介護支援センター やすらぎ
- 事業所内保育所 げんキッズ
- 特別養護老人ホーム すいせんホーム
- 南淡デイサービスセンター やすらぎ
- 南淡在宅介護支援センター やすらぎ
- 老人保健施設 ひまわり
- 小規模多機能施設 風らん
- 養護老人ホーム さくら苑

- あわじ障害者多機能型施設 ウインズ
- あわじ障害者地域活動支援センター きらら
- あわじ障害者相談支援事業所 きらら
- 障害者グループホーム ボヌール地頭方
- 障害者グループホーム ボヌール円行寺
- 障害者就労継続支援B型事業所 クオーレ
- 第2やすらぎ事業所
- やすらぎ訪問介護事業所
- まごころ給食センター

関連グループ

- 医療法人 ひまわり会 中洲八木病院(徳島市)
- 医療法人社団 うしお会 八木病院(南あわじ市)
- 社会福祉法人 ひまわり福祉会(徳島市)

季節の催し
10月・11月
12月・1月



特別養護老人ホーム 翁寿園

特別養護老人ホーム翁寿園／事業所内保育所げんキッズ／
三原デイサービスセンターやすらぎ／三原在宅介護支援センターやすらぎ

☎(0799)
42-6006
42-7333
FAX
42-5275

令和3年度下半期に

新型コロナウイルスによるクラスターが発生しました。

令和4年1月21日、新型コロナウイルス感染者を確認してから毎日のように感染者が一人二人と増え、感染者への対応や隔離居室の確保、濃厚接触者への対応等目が回るほどの慌ただしさに焦りと憤りを感じながら、これ以上広がらないようにと毎日必死に感染拡大防止に努めました。そんな中、洲本健康福祉事務所や主治医からの親切な指導、ご家族様や関係機関からの温かい励ましの言葉が全職員を助けてくれました。そして何より現場の介護職員が一番頑張ってくれました。感染者への対応も自分が対応すると積極的に前に出てくれた介護職員。本当に感謝しかありません。一人目の感染者確認から24日目の2月13日で新たな感染者の確認はなく徐々に収束に向かい、3月4日には感染者ゼロとなり3月7日には利用者様の居室対応も全面解除になりました。長く大変な一ヶ月半でしたが今回のことで職員間の絆がより深まったように思います。今、施設は平穏な日常を取り戻しています。利用者様、ご家族様、関係機関の皆様には長い間多大なご心配、ご迷惑をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。

そして心から感謝いたします。

特別養護老人ホーム 翁寿園
施設長 垣 いくみ

令和3年度 新型コロナウイルス発生状況		
発生～収束期間	R4年1/21～3/7(45日間)	
最終感染者数	利用者	21人(内ジョーステイ6人)
	職員	17人

令和3年度 入居者の入退所状況				
令和3年4月1日～令和4年3月31日				
	従 来 型		ユニット型	
	男性	女性	男性	女性
入居者	6人	12人	1人	8人
退所者	5人	16人	5人	3人



三原デイサービスセンター やすらぎ



運動会



避難訓練

年に2回避難訓練を行います

やすらぎミニデータ

定 員 32名
登録者数 65名
1日平均利用者数 25名
(令和4年1月現在)
男性・女性比 1:3
利用者平均年齢 89歳



お寿司の日

職員がお寿司屋さんになってお寿司をにぎりました!好きなネタを注文し、お寿司屋さんに行った気分です。やっぱりお寿司は好評でした(^^)



クリスマス会

ビンゴゲームを行いました。保育所の園児達にダンスを披露してもらい癒されました。

EPA介護福祉士候補者・外国人技能実習生の今

スルタン ジャネル カバルルさん
(フィリピン)EPA

今年で4年目です。介護福祉士国家試験を受け、見事に合格しました。日本にも仕事にもすっかり馴染んでいます。



グエン ティ ホン ダオさん
(ベトナム)

技能実習生、3年目です。ただたどしかった日本語もすっかり上手になって、お仕事頑張ってます。



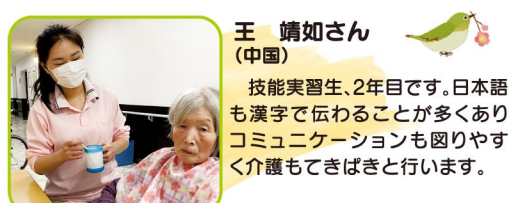
ヒメネス ロビン グレゴさん
(フィリピン)EPA

今年2月に来たばかり。慣れない環境、慣れない仕事だけど勉強熱心です。頑張れ!!

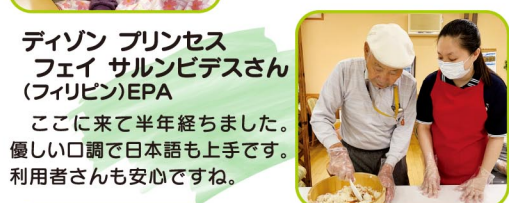


テンボラール ジョンリ リサルドさん
(フィリピン)EPA

ロビンさんと2月に来ました。緊張しっぱなしだけど皆さんに声をかけてもらって何とかやってます。以降お見知り置きを。



王 靖如さん
(中国)
技能実習生、2年目です。日本語も漢字で伝わる事が多くありコミュニケーションも図りやすく介護もてきぱきと行います。



ディソン プリンセス
フェイ サルンピデスさん
(フィリピン)EPA
ここに来て半年経ちました。優しい口調で日本語も上手です。利用者さんも安心ですね。



グエン ティ
トウイ チャンさん
(ベトナム)
技能実習生、3年目です。いつもニコニコ元気です。利用者さんたちのアイドル的存在。

南淡デイサービスセンターやすらぎ

ご当地グルメ

令和3年度は食事を楽しんでいた
だく企画で「ご当地グルメ」を実施し
ました。食べる楽しみに加え見る楽
しみとして、ご当地気分を感じてい
ただける飾り付けをしました。利用者
からは「昔に行ったことがある。懐か
しい」と喜ばれていました。

おいしい～♪

11月 北海道



9月 沖縄



10月 秋祭り
12月 クリスマス会



1月 淡路



2月 秋田



3月 東京



令和3年度年間利用者延べ人数

要支援者	2,792人	
要介護者	6,313人	計9,105人
開所日数	310日	1日平均人数29.6人
稼働率	84.7%	
今年度もたくさんのご利用ありがとうございました。		

南淡在宅介護支援センターやすらぎ

コロナ禍で人が集まることが困難となり、在宅介護支援センターの活動も制限をしながら試行錯誤をしているところではありますが、制限をしていると言っても、そもそも在宅介護支援センターがどんな活動をしているかご存知でない方も多くおられるのでないでしょうか。

そこで今回は在宅介護支援センターの仕事についてお伝えしたいと思います。

まず、在宅介護支援センターを簡単に説明すると、南あわじ市からの委託を受けて旧町単位に設置されている地域包括支援センターの各地区の窓口のような役割をしています。

その中で私達が普段行っている業務は以下のような内容です。

- 『認知症サポーター養成講座』⇒ 認知症の基礎知識を学べる講座の講師を行います。
- 『いきいき百歳体操』⇒ 無理なく筋力をつけられる体操の指導や継続支援を行います。
- 『紙オムツ支給事業』と『食の自立支援事業』⇒ それぞれの審査に必要な情報の聞き取りなどを行います。
- 『出張相談窓口』⇒ 各地区の公民館に出向いて介護を含めた高齢者の生活に関する相談の相談相手となります。
- 『継続見守り』⇒ 月に1回程度ご自宅に訪問して安否確認やお話し相手となります。
- 『安心相談』⇒ 継続見守りのような訪問だと抵抗感がある方などに電話で安否確認やお話し相手になります。

他にも随時高齢者に関するご相談の受付や高齢者に関する会議の開催、ご希望に合わせた講座などなど色々行っております。

前年度と比較して相談業務は98%、認知症サポーターは77%と減っておりますが、継続見守りは136%、紙オムツ、食の自立は132%と増えております。



特別養護老人ホーム

すいせんホーム

特別養護老人ホーム すいせんホーム／南淡デイサービス やすらぎ／
南淡在宅介護支援センター やすらぎ

☎(0799)
53-0030
FAX (0799)
53-0033

令和3年度の取り組み



『働くシニア応援プロジェクト』

南あわじ市の事業である働くシニア応援プロジェクトに参加し、食事の準備や片づけ、介護記録の入力、掃除など介護の補助業務を担っていたくシニア層の雇用について取り組みました。

『従来型特養トイレ改修』

従来型特養のトイレですが、老朽化が目立っておりましてので改修工事を行いました。ご入居者により気持ちよく利用いただけるようになりました。



新しく仲間入りしました



ヴィラペス
エドリアン
デリグです。

令和4年2月より3人目となるEPA介護福祉士候補者がすいせんホームに入職しました。

これから介護技術や知識、日本語を習得し3年後の介護福祉士資格が取得できるように取り組んでいきます。よろしくお願いします！

令和3年度実績 (利用延べ人数 / 稼働率)

特養	28,220名	96%
短期入所	7,164名	98%



『ハロウィンパーティー』

ご入居者の皆さまと一緒に仮装して楽しみました。

『縁日』

たこ焼きや焼き鳥など模擬店を準備しご入居者の皆さんと一緒に楽しみました。



『クリスマス会』

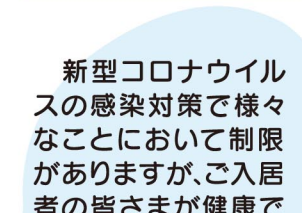
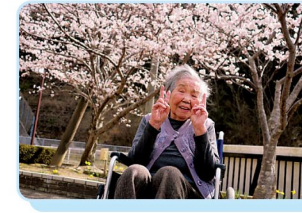
クリスマスケーキを食べ、笑顔でサンタクロースと記念撮影をしました。

『初詣』

施設内に神社を作り、新年を祝いました。一年の健康をお祈りしました。



行事



新型コロナウイルスの感染対策で様々なことにおいて制限がありますが、ご入居者の皆さまが健康で日々の生活を楽しく送ることができるように工夫して取り組みたいと思います。

日常の様子

老人保健施設ひまわりは、令和4年10月1日付けで、運営法人が医療法人社団うしお会に変わることになり、広報誌まごころへの掲載は今回が最後となります。これからも温かさと思いやりの心を大切に、利用者様ができるだけ自立した日常生活が送れるよう、全職員で支援していきます。

コロナ禍でも、利用者様の笑顔を大切に...

新型コロナウイルスの流行で、面会・外出制限のご協力をお願いしていますが、ストレスを感じている方も多かったと思います。施設でできる、楽しいことを企画して進めています。雪・鬼柚・しだれ梅、施設周辺で季節を感じていただいています。

LINE 行事の際は、リアルタイムで家族様へ送信し、楽しいひと時を共有しています。

忘年会

皆様大好きなにぎり寿司で、お食事会を行いました。1年間の行事や出来事を、写真のライドショーで振り返りました。

ドライブ

大野・洲本方面へドライブに出かけました。自然の鮮やかな色に元気をもらえました。

新人職員のご紹介

フィリピンから来ましたダイアンです。趣味は映画を観たり、音楽を聴くことです。日本はとても自然がきれいで、食べ物もおいしくて好きになりました。これから一生懸命頑張ります。

EPA職員 ダイアン

令和3年度事業実績報告

定員【(長期+短期)65名】

	長期入所	短期入所
利用延人数	22902人	549人
稼働率	98.8%	

これまでもベトナム・中国・フィリピンから、技能実習生やEPA介護福祉士候補者の受け入れを行っています。楽しく日々頑張っています。

老人保健施設ひまわりは、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、看護・介護といったケア、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。

リハビリ



多職種でリハビリに関わっています。リハビリを楽しみにされている利用者様も多く、目標に向かって取り組んでいます。目標を達成した時の利用者様の笑顔は格別です。

体操



職員出演で作成した体操DVDを観ながら、ペットボトルを使った体操を行っています。その他、【梅干し体操】もひまわりでは日課となっています。

園芸療法



淡路の特産物の玉ねぎの皮を使って靴下染めに挑戦しました。世界に一つだけの靴下が完成!



面会

コロナウィルス第6波の流行から、オンライン面会が主となっていますが、大切な機会は、工夫しながら直接面会も行っています。



料理クラブ



中華まん作り。本場中国の皮包みを教えてもらいました。おいしく出来上がり満足でした。



利用者様の日々の様子や、行事の事を載せています。楽しんでいただいている様子を、どうぞご覧ください。

老人保健施設ひまわり 検索



冬場は風邪や感染症の予防で、どうしても外出する機会が少なくなってしまいます。季節を感じて頂く為に施設内の行事にも力を入れています。



クリスマス会



餅つき会



新年会



節分



お茶クラブ



料理クラブ



養護老人ホーム さくら苑

養護老人ホーム/外部サービス利用型特定施設入居者生活介護/
訪問介護/短期入所生活介護/生活管理指導短期宿泊事業

☎(0799) 54-0421
FAX (0799) 54-0495

EPA 介護福祉士候補者の受入れ



9月末に入職したアンジーさんは順調に仕事を覚え、日本語も日々上達しています。週に1回、オンラインでの日本語学習も受けています。



ガドゥイナ チャーリン
ポマレジョス です。

令和4年2月18日より、さくら苑では2人目となるEPA介護福祉士候補者を受け入れています。貴重な介護の人材として期待し、3年後の介護福祉士の資格取得を目指して取り組んで頂きます。初日から自身で出来る事は無いから考え積極的に動こうとされていました。

行事の様子



昨秋、コロナの蔓延防止措置等が解除になった際、今しかないと思いお買い物や日帰りでお出掛けをしました。感染対策に気を付けつつ、参加された皆さんは楽しんでくれました。



フレイル予防教室



仲間運動会



お買い物



イングランドの丘へ



有事に備えて

令和3年度は、コロナウイルス等の感染症や災害等の有事に備えて、訓練や対策を検討する機会が多くありました。有事でも施設としての役割を果たせるように準備をしています。



津波想定避難訓練

感染症発生時のシミュレーションとして、予防着の着用や区画割り(ゾーニング)等を行いました。

兵庫県老人福祉事業協会のご協力を得て、感染症や災害発生時の事業継続計画(BCP)の策定に取り組んでいます。



火災想定避難訓練



消火器を使った消火訓練

第2やすらぎ事業所

ケアマネジャーが所属する事業所です。
福祉関係の制度・介護等に関して、お気軽にご相談ください。

☎(0799)
42-7113
FAX (0799)
42-7043

今、話題のスポットを紹介

地域の情報提供もケアマネジャーの仕事の1つ?!

『今も昔も変わらんあ』
『昔、ここでなあ』
と、思い出を語ってくれたり

丸山海岸

賀集八幡神社の桜

『今も昔も変わらんあ』
『昔、ここでなあ』
と、思い出を語ってくれたり

地域の話で
利用者様との
会話が弾みます!

あごころ風神社の大鳥居

来!!...ほんと読本??

灘から見える海

タマリさんが登った階段

雑公民館に
可愛いキューリッパ

朝日ラ
まんぶくさかみかみエリッパの
のり地

令和2年度3月実績
ケアマネ数:8人
ご利用人数
要支援の方:203名
要介護の方:195名

令和3年度3月実績
ケアマネ数:9人
ご利用人数
要支援の方:220名
要介護の方:260名

やすらぎ訪問介護事業所

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、身体介護や生活援助などの
サービスを行っています。(状況に応じ、自費によるサービスを提供します。)

☎(0799)
42-7012
FAX (0799)
42-7043

新職員紹介

18歳から介護の仕事
を始め、デイサービスや
老健での介護職員・相談
員、居宅のケアマネ
ジャーとして様々な利用
者様とお会いしてきまし
た。その中で、介護職として一番大切なことは、
利用者様との信頼関係だと思っています。今回、
新たにサービス提供責任者という職種で利用者
様と関わるようになりました。今までの経験を
活かしながら、私自身も勉強させてもらい、利用
者様やご家族、地域の方に信頼していただける
訪問介護事業所となるように頑張りたいと思
います。

サービス提供責任者 前田 阿津沙

介護のこと、ひとりで背負っていませんか?

私たち「訪問介護のプロ」にお任せください!

やすらぎ訪問介護事業所は管理者1名、サービス提供責任者6名、
訪問介護員1名、登録ヘルパー13名、事務員1名の計22名で頑張っています。



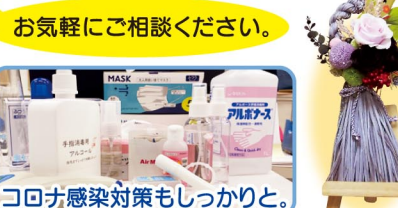
令和3年度実績

実利用者数	延べ利用回数	平均年齢
136人	10,571回	78.0歳

このロゴは、生命の源である
太陽の中で心の文字がほほえ
んでいる様子を表しています。
そしてそれは私たちが大切にし
ている「まごころ」を表したもの
でもあります。まごころとは、真実の心、偽りや
飾りのない心、誠意です。



私たちは、このマークの車で走っています。



お気軽にご相談ください。

コロナ感染対策もしっかりと。

小規模多機能施設

風らん

☎(0799)
50-1051
FAX (0799)
50-1052

一 小規模多機能施設とは一

同じ事業所で通いを中心に、宿泊や訪問を組み合わせ
てご利用頂ける在宅サービスです。

通い・・・15名
宿泊・・・9名
訪問・・・随時

《地域密着型サービスのあり方について》

介護が必要になった高齢者が住み慣れた家、地域での生活を継続することが出来るように利用者の状態や必要に応じて「通い」を中心に「宿泊」「訪問」3つのサービスを組み合わせ提供する在宅介護サービスが小規模多機能施設です。
少人数登録制の為、家庭的な雰囲気の中で他の利用者や職員と楽しく過ごすことが出来ます。また24時間365日、年中無休であるため空きがあれば、いざという時にも対応が可能です。安心して在宅生活を送ることが出来るようにお手伝いさせていただきます。
風らんは2007年11月に開設し、今年で15年目を迎えます。現在、利用して頂いていた利用者様や家族様の口コミで利用に繋がることが増えてきました。少しずつ地域に浸透して来たように思います。
コロナ感染防止の為、新規利用の施設見学・面会などが制限されることが多い状況ですが、利用者様・家族様の要望を可能な限り柔軟に対応して、生まれ育った地域で最後まで生活できるように支えていきたいと思っています。

《認知症サポーター養成講座を受講》

1月11日、在宅介護支援センターの職員を招いて、利用者13名職員9名参加で認知症サポーター養成講座を受講しました。
利用者の方と研修に参加したのは、初めての試みでした。今後自分にも起こりうる「認知症」について熱心に話を聞かれました。
受講後、利用者の方にもアンケートを取らせていただきました。「話は理解できましたが、なかなか難しいと感じた」「よく忘れてしまうから、みんなに助けてもらう」「認知症のことをあんまり知らなかったけど、少しでも知る機会が出来て良かった」「なるべく外に出てお話を聞いた方がいいと思った」「身体を大事にして自分の出来ることをやっていきたい」「思うことをやりたい」「頑張って風らんに来ます」等、日常聞けない利用者の気持ちを理解することが出来ました。
職員からも認知症の症状、中核症状・周辺症状を改めて振り返れる良い機会でした。認知症は個々に違う為、対応の難しさを痛感しました。
これからも、利用者の方の話をよく聞き、個々のペースに合わせ利用者本位のサービスに努めていきたいと思っています。



受講の様子

季節行事

利用者の方に季節を感じてもらおう目的で四季の行事を行っています。



お正月

お正月に向けて、昔から行っていたことを大切にしみながら準備しています。



愛情♥を込めて作っています!!



ハンバーグづくり中～



ケーキ作ってます♪

お客様の「おいしかったよ」の笑顔に一生懸命仕込みに取り組んでいます。店の名前がついた「コパン定食」はボリューム満点で人気No1(^_^)是非ご賞味ください(^^)

第12回スイーツ甲子園に出場



ギフトにもピッタリ(^_^)



商品への想いを熱弁!!

淡路島で育った島いちじくと平岡レモンを使ったパウンドケーキで出場しました。惜しくもグランプリは逃しましたが、審査員の方々からは、地産地消で将来性の感じられる商品であるとお褒めの言葉をいただきました。

地域清掃活動ボランティアを実施



11/3(水)地頭方



2/23(水)志知北

令和2年度から始まった清掃活動も今年で3年目を迎えました。今年もおそろいのユニホームで清掃活動を実施。地域の方々から「きれいにしてくありがとう」、「頑張ってるね」と声をかけていただき、やりがいを感じる事ができました。



施設内研修

最近では火災や、地震などの自然災害が多くなっています。地元の警察の方や消防の方に協力いただき、万が一に備え、慌てず対応できるよう定期的に訓練を実施しています。

消火器を実際に用いて、初期消火などの一連の流れを実践しました。警察の方には、さすまたの使用方法を教えてください、不審者が来た場合の対応を訓練しました。いつ発生するか分からない災害等に備え、全員が無事に避難できるよう訓練を続けていきたいと思っています。



「通報訓練」



「風水害訓練」



「防犯訓練」



「消火訓練」

感染予防対策



「検温・消毒器設置」



「3回目ワクチン接種」

マスク着用を
実施しています消毒を
おこなっています換気を
おこなっています手洗いを
実施しています

手指の消毒

「施設に持ち込まない、施設内に広げない」を基本に、基礎的な感染予防対策はもちろんのこと人流の抑制を図る為、施設ではウインズ棟、きらら棟の利用者の行き来をできるかぎり制限し、感染予防の徹底に努めています。

令和4年3月25日、ウインズ・きららで60人の障害者を対象とした、3回目のワクチン接種を無事に実施することができました。

日常生活の様子



「分かりやすく注意喚起」



「帰宅後は手洗い・うがい」

「持ち込まない」「持ち出さない」「広げない」をモットーに、感染対策を実施しながら、共同生活を送っています。

全島一斉清掃に参加



自分たちが生活している地域をきれいにするために全島一斉清掃に参加しました。清掃活動を通して、地域の方々と交流を深めることができました。



音楽で遊ぼう

10月より、コロナ禍におけるリフレッシュを図るため、第3土曜日をメンタルヘルスケアを目的に感染予防対策を取りながら開所しています。

そのなかの一つ、利用者の皆さんに大人気な音楽療法が再開しました♪今井先生による、目で見ても耳で聞いても季節を感じるプログラムとなっています。回数を重ねることでリズムに乗って、上手く太鼓が叩けるようになりました。これからも利用者の皆さんが心身共に健康で、毎日施設に通えるような取り組みを実施していきたいと思っています。





翁寿園保育所げんキッズ

みんななかよし

☎(0799)
42-6006
FAX (0799)
42-5275

暖かい春とともに、進級児3名、新入所児3名を迎え、合計6名で令和4年度をスタートしました。
昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行で閉所となった期間もありました。今年度も継続して感染予防を徹底し、家庭と連携を深め、子どもの健康観察を行いながら、安心して利用できるように努めます。
また、どんな時も深呼吸する気持ちで、子ども達が日々の生活の中で何を楽しんでいるのか、子どもの心に思いを寄せ、子どもの心が身近に感じられる保育を心掛けていきたいと思ひます。

保育目標

- ・よく遊び、夢に向かって生きる子ども
- ・豊かな感性を持ち、人や自然、物を大切にする子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども

令和4年度も
垣所長・保育士6名で、
子ども達が「大事にされている」と
感じられる保育をし、
チームワークを高めながら、
がんばります！

♡げんキッズのおともだち♡



あやかちゃん
(1歳児)



とわねちゃん
(2歳児)



はるとくん
(1歳児)



ゆいちゃん
(1歳児)



ゆずはちちゃん
(0歳児)



そうまくん
(1歳児)

令和3年度たのしかった思い出



デイのおじいちゃん、おばあちゃんと
一緒に運動会！
かけっこ・玉入れ楽しかった♡



ハロウィンが可愛く衣装したよ♡
かわいいでしょ？



秋の遠足(ラマーズパーク)



紅葉狩り(成相寺)
とってもきれいだったよ！



サンタさんと会えて大興奮！！



鬼滅の刃の衣装を着てみました♡
いざ！鬼退治！



まごころ給食センター

☎(0799)
43-5607
FAX (0799)
43-5608

思いやりのある心で・食べやすく・美味しい食事を

令和3年度下半期の行事食をご紹介します！

～お正月～

おせち料理は毎年皆
さまに喜ばれます！
嚙下が困難な方にも
おいしく食べていただけ
るよう工夫しています。



おせち料理の
ゼリー食



ハロウィン



クリスマス



節分



春のお彼岸

「コロナフレイル」

って知ってる？

「フレイル」とは心身の機能が低下した状態をいい、「健康な状態」と「介護が必要な状態」の間の段階です。

新型コロナウイルス感染防止のための行動自粛の結果、高齢者の心身の機能が低下してしまう「コロナフレイル」が懸念されています。

予防としては、運動・栄養・社会参加と言われています。栄養面では、たんぱく質の多い食材を摂り、筋肉量を落とさない食習慣を心がけることがポイントです。

まごころ給食センターでも、肉や魚、大豆などたんぱく質の多い食材を積極的に取り入れた献立を立案していきたいと思ひます。

地域のご高齢者にお弁当をお届けしています

南あわじ市から「食」の自立支援事業を受託して5年目を迎え、現在は113名の方がこの配食サービスを利用されています。

きざみ食・療養食にも対応し、行事食も多くの方に喜ばれています。



ご寄附いただきました！

令和3年11月15日、中田健市様からもち米(新米)15kgをご寄附いただきました。心より感謝申し上げます。もち米は、12月1日にお赤飯にして利用者様に召し上がっていただきました。ありがとうございました。



◆◇まごころ給食センター栄養士が、日々の食事と時事の小ネタをブログにアップしています◇◇
皆様のコメントをお待ちしています。 <https://ameblo.jp/magokoro-5608/>